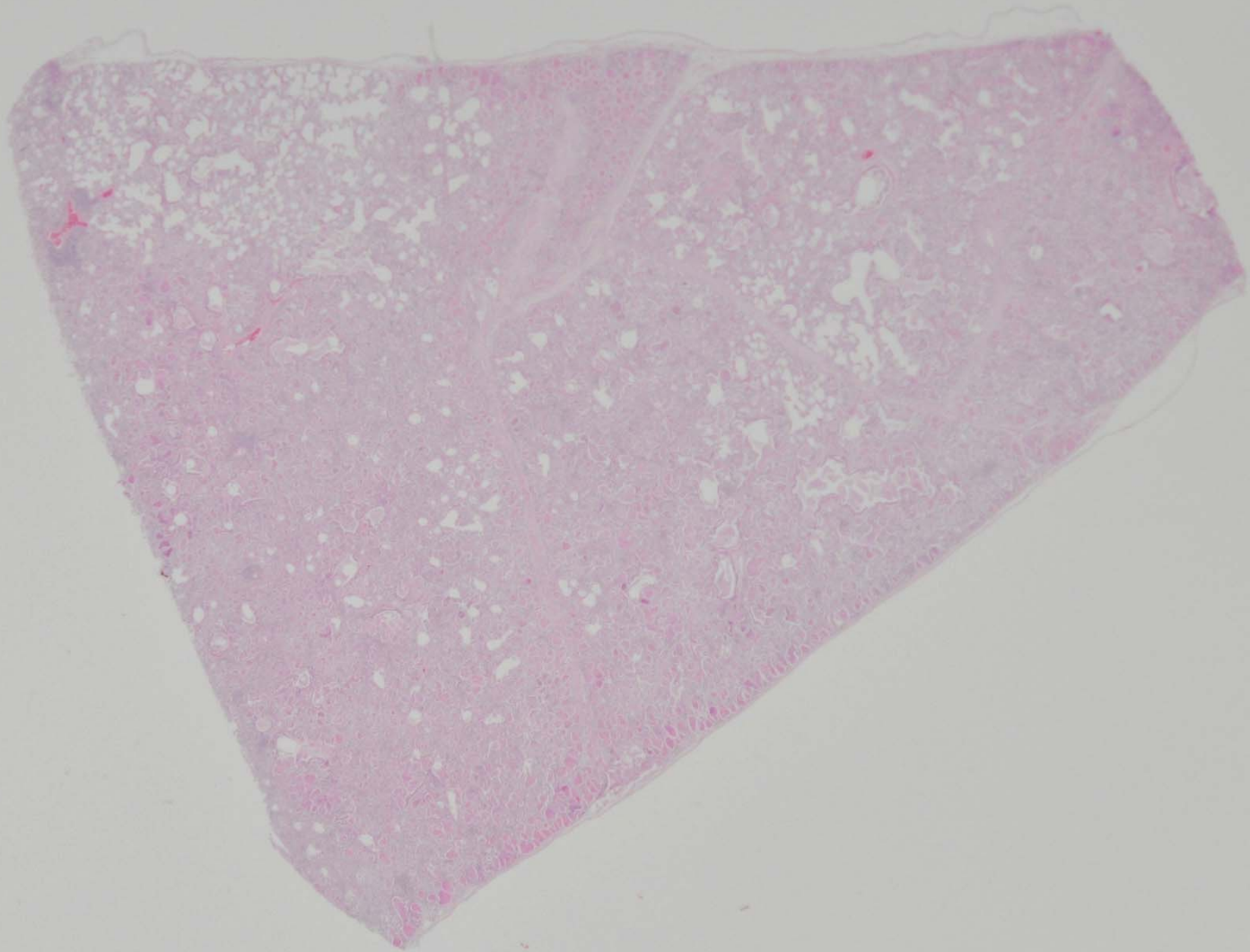


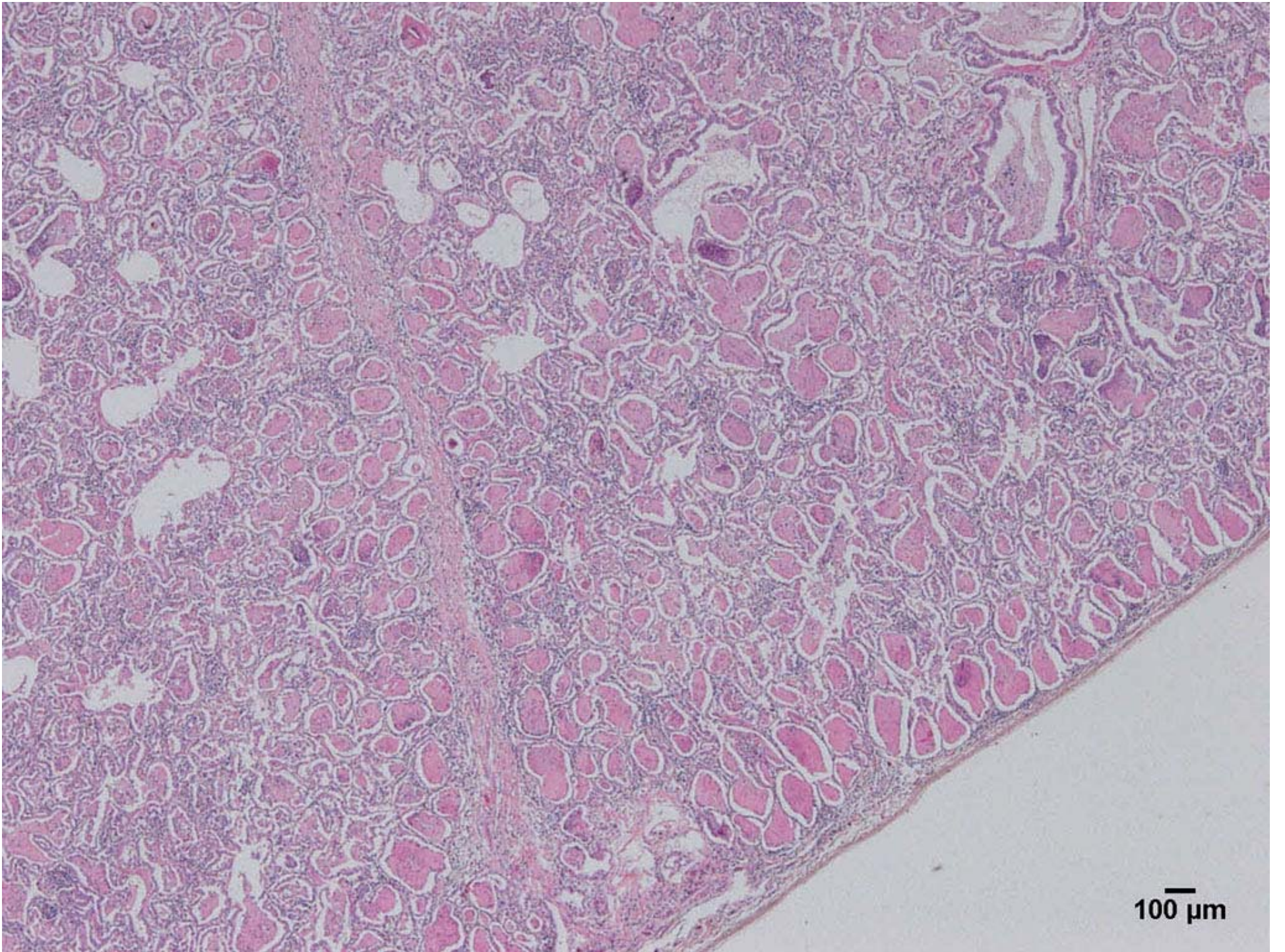
2013-17-4 山羊 肺

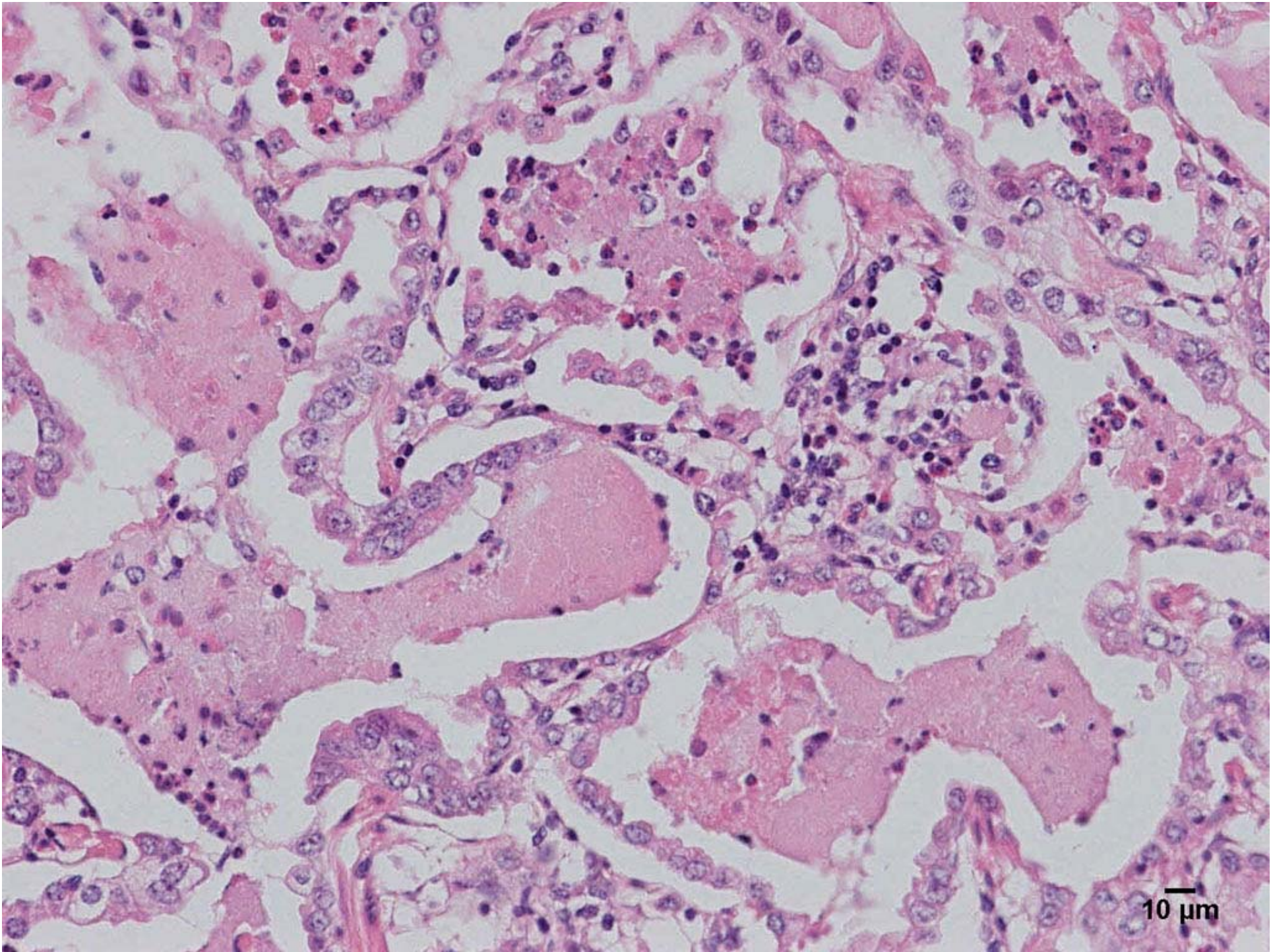
牛病理 小菊洋行

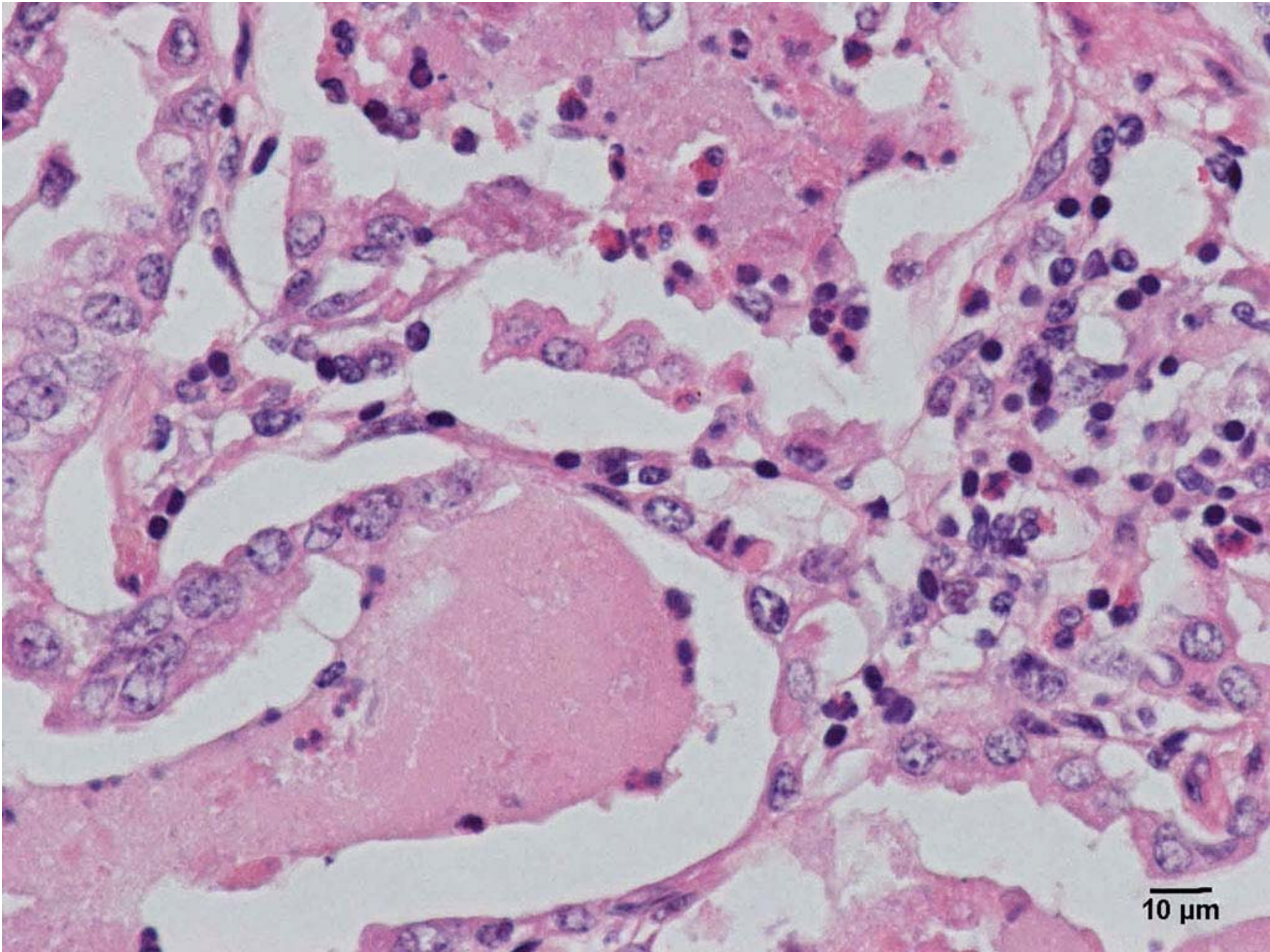
- 提出機関
スウェーデン農業科学大学
- 患畜
山羊、メス、20か月齢
- 病歴
 - 大学の実習用山羊
 - 呼吸困難（ペニシリンで治療したが、改善せず、安楽殺）
 - 食欲不振、発熱、脱水
 - 同居山羊は呼吸器症状もなく、健康
- 肉眼所見
 - 肺 褪色、肥大、硬結。剖面には硬く、境界不明瞭な褪色部が多発
 - リンパ節 重度の肥大、褪色、皮質と髓質の構造が明瞭
 - 肝 胆管はび漫性に、重度に線維化
 - その他 手根関節、髓膜に充血

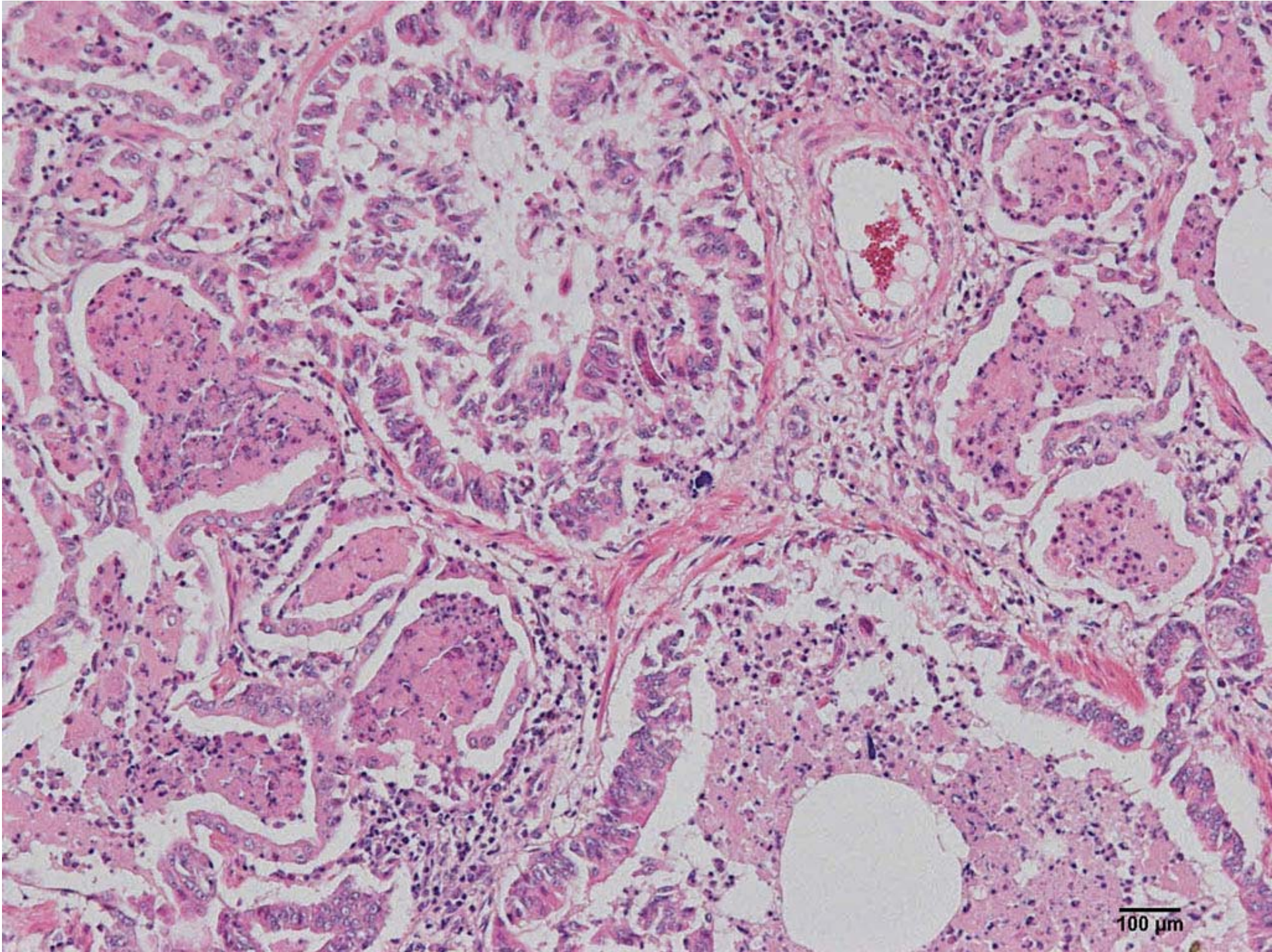


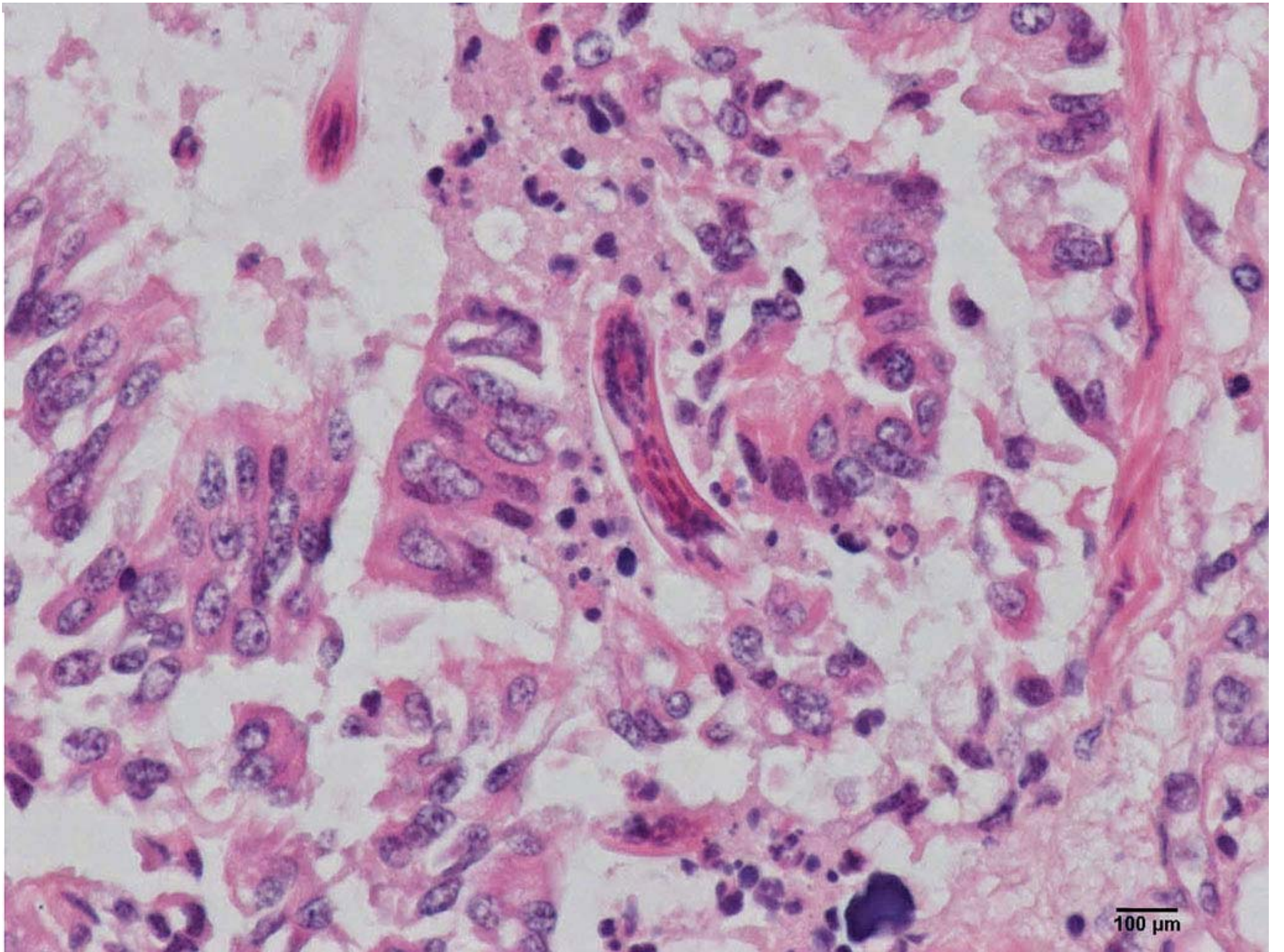
1 mm











○ 組織所見

➤ 肺

- ほとんどの肺胞腔、細気管支腔に好酸性、均質な滲出液と変性した好酸球
- 肺胞中隔は、リンパ球、好酸球浸潤により顕著に肥厚
- Ⅱ型肺胞上皮細胞の重度の過形成
- 細気管支壁において、平滑筋の中等度の肥大
- 小葉間結合組織にも好酸球の浸潤、血管拡張、水腫
- 肺虫の寄生

➤ リンパ節

- 縦隔、気管気管支リンパ節に好酸球性 肉芽腫性 リンパ節炎

➤ 脳

- リンパ球・組織球性 脳脊髄炎

○ 血清学的検査

- エライザ法 山羊関節炎・脳炎(CAE)ウイルス抗体 陽性

○ 提出者の診断

肺：肺炎、間質性、慢性、リンパ球性、重度の、び漫性、好酸性滲出液並びにⅡ型肺胞上皮細胞及び平滑筋の過形成を伴う

肺：肺炎、間質性、好酸球性、中等度の、多発性、病変内に少数の小型の肺虫 (Protostrongylidae科)の幼虫及び成虫を伴う

Lung: Pneumonia, interstitial, chronic, lymphocytic, severe, diffuse with intra-alveolar eosinophilic fluid and hyperplasia of pneumocytes type II and smooth muscles.

Lung: Pneumonia, interstitial, eosinophilic, moderate, multifocal with few intralesional larvae and adults of small lung worm, (family *Protostrongylidae*).

○ JPCの診断

1. 肺：肺炎、間質性、リンパ球・組織球性、慢性、び漫性、重度の、Ⅱ型肺胞上皮細胞の過形成及び肺胞蛋白症を伴う

2. 肺、肺胞：毛様線虫の幼虫、複数の

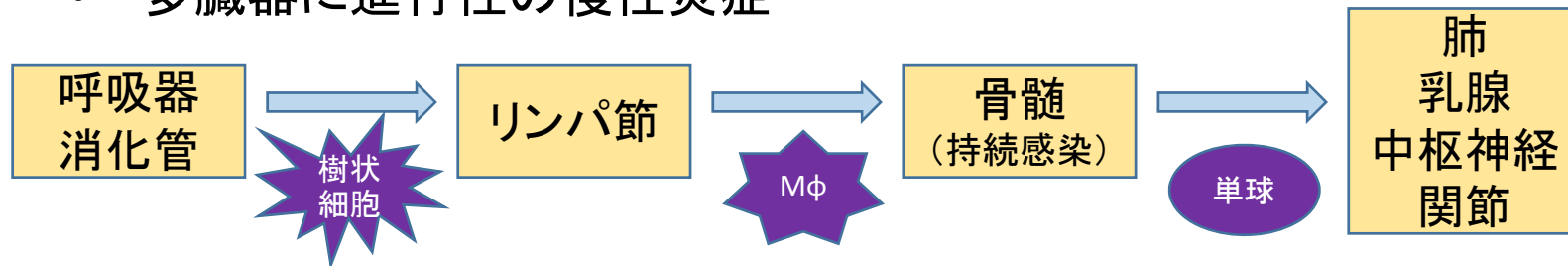
1. Lung: Pneumonia, interstitial, lymphohistiocytic, chronic, diffuse, severe, with marked type II pneumocyte hyperplasia and alveolar proteinosis.

2. Lung, alveoli: Trichostrongyle larvae, multiple.

○ 提出者のコメント

➤ 小型反芻獣レンチウイルスSRLVs

- CAEV、マエディ・ビスナウイルス等を含むレトロウイルス科レンチウイルス属の一群
- 多臓器に進行性の慢性炎症



➤ 山羊関節炎・脳炎CAE

- 成山羊で関節炎・乳房炎、幼若山羊で神経症状・肺炎
- 慢性間質性肺炎が特徴的
 - II型肺胞上皮細胞の過形成
 - 肺胞中隔へのリンパ球浸潤
 - 肺胞腔における好酸性滲出液の貯留

➤ 本症例はCAEと診断

- CAEによる肺炎の所見と一致
- 関節炎、脳炎の併発
- CAEV抗体陽性

○ JPCのコメント

- 本症例はCAEの典型例

○ WSC 2011-2012, Conference 7, case 2の概要

- 山羊、メス、5歳
- 肺の褪色・硬結・点状出血、手根関節の腫脹、乳腺に多数の膿瘍
- II型肺胞上皮細胞の過形成、リンパ球浸潤、好酸性滲出液の貯留
- 好酸性滲出液は、surfactant protein A-IHC陽性
- 山羊の非化膿性間質性肺炎の類症鑑別

- マエディ・ビスナ

I型肺胞上皮細胞が傷害されないため、II型肺胞上皮細胞の過形成と好酸性滲出液の貯留は顕著ではない。

- 羊肺腺腫症

- 主に羊が感染し、山羊では稀。II型肺胞上皮細胞の過形成

- 毛細肺虫による寄生虫性肺炎

- リンパ球性間質性肺炎